



南町小だより

練馬区立南町小学校

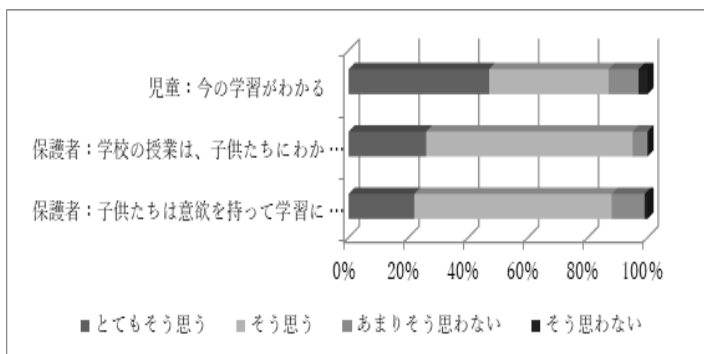
令和2年 3月24日
つよく かしこく あたたく

校長 星 美登里

令和元年度 教育活動についての調査のまとめ

「南町小学校の教育活動についての調査」にご協力いただき、ありがとうございました。集計結果と考察についてお知らせいたします。結果につきましては、令和2年度の教育活動に生かし、よりよい南町小学校を目指してまいります。

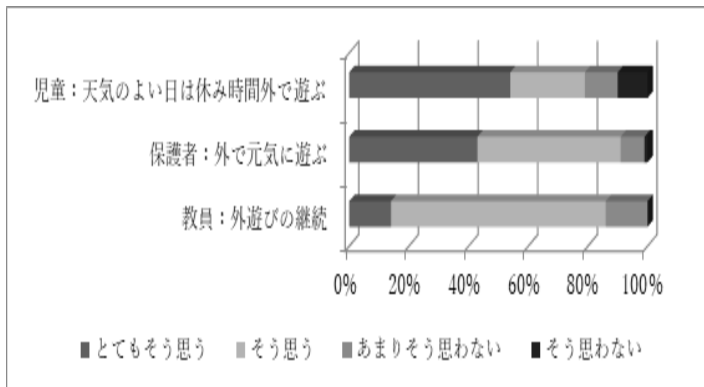
＜学習について＞



保護者アンケートの「子供たちにわかりやすい授業となっていますか」という問いに「とてもそう思う・そう思う」と答えた割合が昨年度より2ポイント下がり95%、児童の「授業がわかる」という問いに「とてもそう思う・そう思う」と答えた割合が昨年より3ポイント下がり87%という結果となりました。また、児童の学習意欲を問う設問では、88%の保護者が肯定的に捉えています。学校では、「分かる・できる授業」を目指し、基礎的・基本的な学力の定着を図るために子供一人一人に応じたきめ細かい指導を工夫し、習熟度別指導、反復指導、学習形態の工夫、習熟度別指導、反復指導、学習形態の工夫、習熟度別指導、反復指導、学習形態の工夫

夫、ICT機器の活用を行ってきました。新学習指導要領全面実施となる来年度は、「主体的・対話的で深い学び」を促す授業を推進し、言語能力の育成に重点を置きます。全校で朝の時間に週3回程度国語の学習を行い、言語への関心を高めるとともに、掲示板の活用等言語環境を整えていきます。

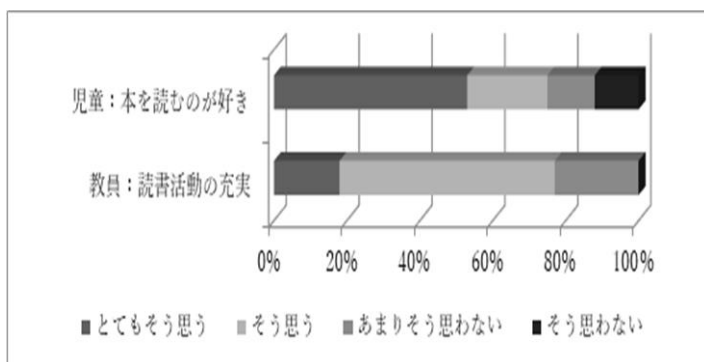
＜体力の向上＞



「外で元気に遊ぶ」という質問に「とてもそう思う・そう思う」と答えた保護者は昨年度より6ポイント下がり91%、児童の「天気の良い日は休み時間外で遊ぶ」は2ポイント下がり79%、教員の「外遊びの継続」は3ポイント上がり86%となりました。クラス遊びを取り入れたり、「持久走カード」「なわとびカード」を活用したりして、全校で休み時間に運動する時間を多く設定してきました。しかし、体力テストの結果を見ると走力や持久力といった走ることに課題が見られます。授業で走る運動を多くしたり「なわとび週間」や「持久走週間」等全校で運動する活動をさらに充実させたりすることで体力向上に努めてまいります。

体力作りのためには睡眠や栄養が欠かせないことは、言うまでもありません。朝、毎日ご飯を食べて登校している児童は94%という結果でした。ご家庭での協力に感謝します。今後も引き続き「早起き・早寝・朝ご飯」の習慣作りにご協力ください。

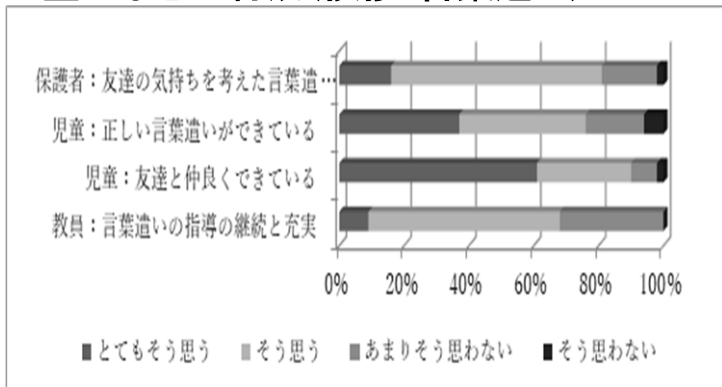
＜読書活動＞



「本を読むのが好き」との質問に「とてもそう思う・そう思う」と答えた児童は昨年より4ポイント下がって75%、教員の読書活動への取組の意識は肯定的な意見が10ポイント下がって79%という結果となりました。今年度、高学年は外国語のモジュールの時間を設定したため朝読書が週1回となったことが挙げられます。一方で、2週間の読書旬間に合わせて実施した「お話し会」（低学年）や「本の探検ラリー」（中学年）、

「ブックトーク」（高学年）は児童に定着しています。また、児童が本に親しめるように、学校図書館管理員や学校図書館開放指導員の方々が図書館環境整備に力を入れてくださっています。今後は図書室の積極的な活用と図書委員会の活動の充実に取り組むとともに、全校での新たな取組も工夫して計画し、読書活動の充実にさらに力を入れていきたいと思ひます。なお、来年度外国語の時間はモジュールではなく、週2回時間割に位置付けて行ひます。

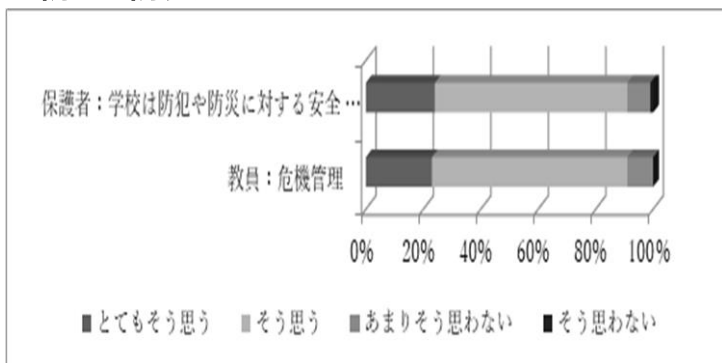
<豊かな心の育成(挨拶・言葉遣い)>



保護者アンケートで「友達の気持ちを考えた言葉遣い、思いやり等ができる」の質問に「とてもそう思う・そう思う」の回答が昨年より5ポイント上がり81%、児童へのアンケートで「正しい言葉遣いができている」の質問に「とてもそう思う・そう思う」の回答が2ポイント上がり76%、という結果となりました。今年度は、代表委員会が継続して挨拶運動に取り組んだことも意識の向上につながったと考えられます。また、学校公開時に父親の会の皆様をはじめ保護者の方が校門で挨拶をしてくださったことは、大きな力とな

っています。言葉遣いについては、日頃の大人の言葉遣いも子供に影響します。保護者の皆様と連携して、取り組んでいきたいと思ひます。「友達と仲良くできている」と回答した児童が90%となったことは、うれしい結果です。縦割りの「ふれあい班活動」の充実やペア児童による「ふれあい日記」の交換が効果的だったと思ひられます。今後さらに児童の交流活動を充実させていきます。

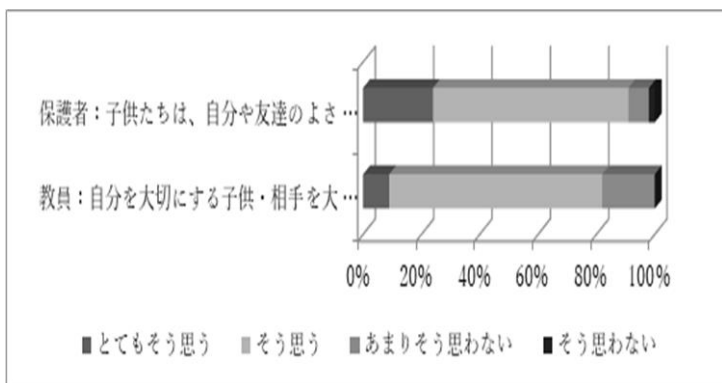
<防犯・防災>



防犯・防災に対しての質問に対して、肯定的に答えた割合は保護者が昨年同様91%、教員は6ポイント下がりましたが91%と高い結果となりました。防犯については、不審者を学校の敷地に入れないことを第一に考え、「通ったら門を閉める」「東と西の昇降口の扉を閉める」を今年度も行ってきました。その結果、低学年児童も自ら進んで門を締める姿が見られるようになってい

ます。しかしながら、「誰にも会うことなく校内に入れてしまい、不安です。」との声もいただいています。教職員の「校内で会った方に声をかける」を徹底していくと共に学校公開時等の受付の改善に取り組んでまいります。保護者の皆様におかれましても来校時の名札の着用の徹底をお願いします。今年度は防犯対策について保護者の皆様にもご協力をいただきました。PTA防犯パトロールの内容を工夫して下さったり、自主的な見守りを行って下さったりと感謝いたします。今後も保護者、地域の方々にご協力いただきながら、防犯対策を進めていきたいと思ひます。

<人権教育の推進>



保護者対象のアンケートで「子供たちは、自分や友達のよさを知り、大切にしようとしていますか」という問いに対し、「とてもそう思う・そう思う」と答えた割合は91%、教員の「自分を大切にすること、相手を大切にすることの指導」についての意識は、肯定的な回答が82%という結果となりました。

東京都人権尊重教育推進校である本校は、全教育活動を通して、自他の大切さを理解し行動できる子供の育成に力を入れてきました。特に、一人一人の子供が「存在感、所属感、充実感」を実感できるよう「子供が子供を育てる」「子供

が生活を創る」「あこがれの6年生を育てる」ことを目指しています。今後も人権教育の一環として、毎月第1火曜日を「みかんの日」とし学級での交流を深め、また異年齢で構成する「ふれあい班」活動を実施し、関わりの場面を意図的、計画的に設定します。継続的な指導の中で、自分の大切さとともに他の大切さを認め行動できる子供の育成をさらに進めていきます。